

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	11 道路
事務事業名		05	道路等新設改良事業
		根拠法令・例規等	道路法
		問 担当課(室)	都市整備課
		合 職・氏名	土木係長 尾野田瑞穂
		先 電話	0869-64-1850
		このシート作成に要した時間	7.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・車両
目的(何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	道路改良により、幅員が3.5m以上となる工事の割合を一定以上保ち、改良効果の向上を図る。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路新設改良事業	市道の新設、拡幅、改良及び舗装をし、道路を円滑に通行できるようにする。	
	橋梁新設改良事業	新しく橋を架けたり、老朽した橋を改良する。	
	用地購入等事務	市道の新設や拡幅するための用地を購入する。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		217,717	89,493	154,292
	必要人員(人件費)	千円	3.96人	24,302	4.16人
	事業費		242,019	115,479	28,820
	事業費計		242,019	115,479	183,112
	国県支出金		44880	16000	25217
	受益者負担				
財源	千円				
繰入金		79700	38600		
その他()					
一般財源					
受益者負担比率	%		117,439	60,879	157,895
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	改良工事後に幅員が3.5m以上になった道路の延長	事業	1,121	1,421	1,945
	対前年比	%	-	128.8%	136.9%
	活動コスト	円	87,329,493	52,638,600	77,353,450
	単位当たりコスト	円	77,903	37,043	39,770

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
改良工事に占める幅員3.5m以上改良延長の割合	目標値(A)	65	65	65	65
	実績値(B)	63	81	75	到達目標値
	達成率(B/A)	96.92%	124.62%	115.38%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
幅員3.5m以上の改良延長 / 改良延長					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> B

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	前年度に引き続き、用地の協力が得られ、事業効果が高いところから重点的に整備をしていくことにより、目標数値より上回るように推進していく。					

総合評価	
コスト縮減等を図り、用地等の協力が得られ事業効果の高い箇所から重点的に整備を行った結果、成果指標の数値は去年より下がったが、改良延長は延び、目標数値は達成できた。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方針及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	23年度についても、コスト縮減等を考え、用地等の協力が得られやすいところ、事業効果の大きいところから重点的に道路整備を行っていく。					

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値目標を達成するための成果指標

